

自筆証書遺言の方式（全文自書）の緩和方策として考えられる例(2)

1 遺言書本文（全て自書したもの）

遺 言 書

- 1 私は、私の所有する別紙記載の不動産を、長男甲野一郎（昭和○年○月○日生）に相続させる。
- 2 私は、私の所有する全ての預貯金を、次男甲野次郎（昭和○年○月○日生）に相続させる。
- 3 私は、この遺言の遺言執行者として、次の者を指定する。
住 所 ○○県○○市○○町○丁目○番地○
職 業 弁護士
氏 名 丙山 太郎
生年月日 昭和○年○月○日

平成29年1月24日

住所 東京都千代田区霞が関1丁目1番1号

甲 野 太 郎 (印)

2 別紙（建物の全部事項証明書に署名押印したもの）

表題部（主である建物の表示）		調製	余白		不動産番号	0100987654321	
所在図番号	余白						
所在	千代田区霞が関一丁目1番地					余白	
家屋番号	1番1					余白	
①種類	②構造	③床面積			m ²	原因及びその日付〔登記の日付〕	
居宅	木造瓦葺2階建	1階	88	63	平成4年7月8日新築 〔平成4年7月15日〕		
		2階	47	32			
余白	余白	1階	110	55	③平成15年11月24日増築 〔平成15年12月1日〕		
			97	87			
表題部（附属建物の表示）							
符号	①種類	②構造	③床面積		m ²	原因及びその日付〔登記の日付〕	
1	物置	木造瓦葺平家建	25		88	〔平成4年7月15日〕	
2	車庫	木造瓦葺平家建	22		67	平成13年12月1日新築 〔平成13年12月14日〕	
所有者	千代田区霞が関一丁目1番1号 甲野太郎						

権利部（甲区）（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権保存	平成4年7月23日 第7230号	所有者 千代田区霞が関一丁目1番1号 甲野太郎

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。

平成29年1月23日

関東法務局特別出張所

登記官

法務 八郎 公印

*下線のあるものは抹消事項であることを示す。

整理番号*****

甲野太郎 印